

受検番号	氏名

令和4年度

神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

# 適性検査Ⅱ

(45分)

——— 注 意 ———

- 1 「はじめ」の合図があるまで、この検査用紙を開いてはいけません。
- 2 問題は問4まであり、1ページから8ページに印刷されています。
- 3 問題をよく読んで、答えはすべて解答用紙の決められた欄<sup>らん</sup>に書きましょう。解答欄<sup>らん</sup>の外に書かれていることは採点しません。
- 4 字数の指定がある問題は、指定された字数や条件を守り、ていねいな文字で書きましょう。次の〔例〕のように、横書きで、最初のマスから書き始めます。段落をかえたり、マスの間をあけたりしないで書きます。文字や数字は1マスに1字ずつ書き、文の終わりには句点〔。〕を書きます。句読点〔。、〕やかっこなども1字に数え、1マスに1字ずつ書きます。

〔例〕

1	2	月	の	詩	の	テ	ー	マ	は
,									

- 5 「やめ」の合図があったら、途中<sup>とちゆう</sup>でも書くのをやめ、筆記用具を机の上に置きましょう。

問1

かなこさんのクラスでは、学級活動で議論の目的やそのやり方について学習しています。次の【会話文】を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

【会話文】

先生 「今日は、議論の目的やそのやり方について、【資料】を使って学習します。そのことをもとに、次回は『よりよいクラスにするために、学級目標を考えよう。』というテーマで班ごとに議論し、学級目標の案を考えます。」

かなこ 「【資料】には、議論を通して学べることが書かれています。」

たろう 「わたしたちのクラスでも、取り入れたいことがあります。」

【資料】

(著作権の都合により省略)

## (著作権の都合により省略)

(『13歳からの読解力』山口謠司著より ※一部表記を改めたところがある。)

注1) 指摘：問題となるところを、とくに取り上げて示すこと。

注2) 添削：作文や答案などを、書き加えたり、けずったりして、直すこと。

注3) フィンランド：ヨーロッパの北部にある国。

注4) 項目：内容がわかりやすくなるように、ここでは、1～10に分けたもの。

注5) 感情的：気持ちの変化が激しく、それが顔や態度に出やすい様子。

注6) 部活：運動や文化などに興味をもつ子どもたちが、自主的に参加して行われる活動のこと。

注7) ディスカッション：話し合い。

注8) 客観的：自分の考えにとらわれなくて、ものごとを見たり考えたりする様子。

(1) [資料] から読みとれる内容として、あてはまるものを次の①～⑤の中からすべて選び、その番号を書きましょう。

- ① 班のメンバーのひとりが書いた作文のよいところや悪いところについて、同じ班のメンバーが議論をしてはいけない。
- ② 議論を通して、自分とは異なる意見がたくさんあることを知ることができる。
- ③ 小学生は、議論をするときのルールを決めてはいけない。
- ④ 議論では、おこったり泣いたりしながら話してはいけない。
- ⑤ 「勉強と部活、どちらが大切か」というテーマでの議論を、グループで行ってもよい。

(2) 次のア、イの各問いについて答えましょう。

ア [資料] の「勉強と部活、どちらが大切か」というテーマで議論するとき、どのようなことをためせば、客観的に自分の考えが見えてきますか。[資料] の内容をふまえて、30字以上50字以内で書きましょう。

イ あなたのクラスで、『よりよいクラスにするために、学級目標を考えよう。』というテーマで班ごとに議論し、学級目標の案を出すことになったとします。このとき、あなたはどのような案を出しますか。また、あなたの案とは異なる案を出した人がいたら、よりよい案となるように、どのように話し合いますか。これら2つのことについて、60字以上80字以内で書きましょう。

**問2** たろうさんとかなこさんは、実行委員として、それぞれが計画を考えている運動会の種目について話しています。次の(1)、(2)の各問いに答えましょう。

(1) 次の【会話文1】を読んで、あとのア、イの各問いに答えましょう。

【会話文1】

たろう 「運動会のダンスの種目では、どのような速さの曲に合わせて、おどるのですか。」  
 かなこ 「4分の4拍子<sup>ひょうし</sup>で、1分間に4分音符<sup>おんぶ</sup>を120回打つ速さで演奏される曲に合わせて、おどります。その曲の説明を【メモ】にかきました。」  
 たろう 「その曲に合わせて、どのような工夫<sup>くふう</sup>をするのですか。」  
 かなこ 「【表1】のように、曲は全部で122小節あります。その曲の小節に合わせて、場面は、移動、おどり①、移動、おどり②、移動、おどり③の順番で変わります。おどり①とおどり③は、1組～3組が同じ動きをします。おどり②は、【表2】のように、1組～3組がそれぞれの動きをします。」

【メモ】 おどる曲の拍子と1拍を演奏するのにかかる時間

○ おどる曲は4分の4拍子<sup>ひょうし</sup>です。♪を1拍<sup>ぱく</sup>とし、4拍<sup>ぱく</sup>で1小節<sup>せうせつ</sup>です。

○ おどる曲の1拍<sup>ぱく</sup>を演奏するのにかかる時間は、1分間に4分音符<sup>おんぶ</sup>を120回打つという速さをもとにして決まります。

♩ = 120 ← 曲の速さを表す記号

【表1】 曲の小節と場面

小節	1～12	13～53	54～56	57～81	82～88	89～122
場面	移動	おどり①	移動	おどり②	移動	おどり③

【表2】 1組～3組それぞれの順番とおどりの動き

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 15%;">順番</td><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 5%;">2</td><td style="width: 5%;">3</td></tr> <tr><td>組</td><td>動き</td><td>A</td><td>B</td><td>C</td></tr> </table>	1	順番	1	2	3	組	動き	A	B	C	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">2</td><td style="width: 15%;">順番</td><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 5%;">2</td><td style="width: 5%;">3</td><td style="width: 5%;">4</td></tr> <tr><td>組</td><td>動き</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>C</td></tr> </table>	2	順番	1	2	3	4	組	動き	A	B	A	C	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 5%;">3</td><td style="width: 15%;">順番</td><td style="width: 5%;">1</td><td style="width: 5%;">2</td><td style="width: 5%;">3</td><td style="width: 5%;">4</td><td style="width: 5%;">5</td><td style="width: 5%;">6</td></tr> <tr><td>組</td><td>動き</td><td>A</td><td>A</td><td>B</td><td>A</td><td>A</td><td>C</td></tr> </table>	3	順番	1	2	3	4	5	6	組	動き	A	A	B	A	A	C
1	順番	1	2	3																																				
組	動き	A	B	C																																				
2	順番	1	2	3	4																																			
組	動き	A	B	A	C																																			
3	順番	1	2	3	4	5	6																																	
組	動き	A	A	B	A	A	C																																	


※ 1つの小節に合わせた動きA、動きB、動きCの3つの動きがあり、そのうちの1つの動きを小節ごとにおどります。1組～3組は、表の順番どおりに動き、どの組も動きCが終わったら、順番1の動きAにもどり、同じ順番で動きをくり返します。

ア 【表1】のおどり①の時間とおどり③の時間の合計は何分何秒か、解答欄の [ ] にあてはまる数を書きましょう。

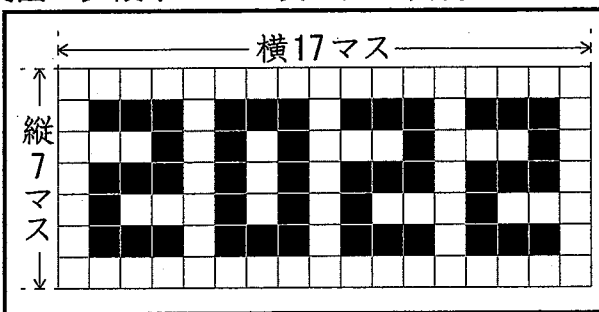
イ 【表1】のおどり②で、1組～3組の動きが、すべて同じとなる小節は何回あるか、書きましょう。

(2) 次の〔会話文2〕を読んで、あとのア、イの各問いに答えましょう。

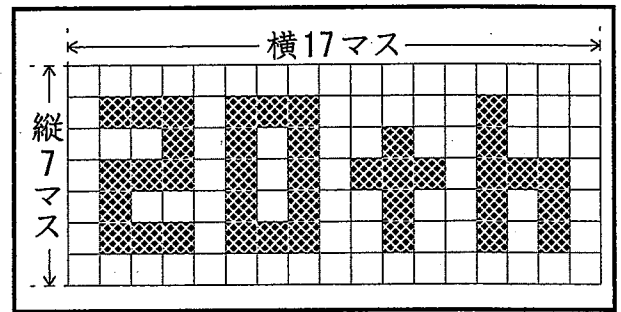
〔会話文2〕

かなこ 「たろうさんは、どのような種目の計画をしているのですか。」  
 たろう 「学校ができて20周年を祝う種目の計画をしています。〔図1〕と〔図2〕のように縦7マス、横17マスの合計119マスで文字を表現します。」  
 かなこ 「〔図1〕は20年めにあたる2022年のことを表し、〔図2〕は20年めを英語で20thと表したのですね。これらをどのようにして観客に見せるのですか。」  
 たろう 「1人1枚ずつ段ボールを持った119人が、〔図1〕と〔図2〕のマスと同じように、縦7人、横17人で並び、その段ボールを観客席に向けることで、見てもらいます。並んだ119人は最後まで、その場を動きません。」  
 かなこ 「1枚ずつ持つ段ボールは、どのように作るのですか。」  
 たろう 「段ボールは、すべて同じ大きさの正方形で、マスの模様を表す□、■、の紙をはって作ります。」  
 かなこ 「だれがその段ボールを作るのですか。」  
 たろう 「段ボールを持つ人が自分の分を作ります。段ボールの表の面に〔図1〕で担当するマスの模様の紙をはり、裏の面に〔図2〕で担当するマスの模様の紙をはります。」  
 かなこ 「だれの合図で、紙をはった段ボールの表の面や裏の面を観客席に向けるのですか。」  
 たろう 「わたしが出す合図です。全員が、1回めの合図で〔図1〕となる表の面を観客席に向け、2回めの合図で段ボールを下ろします。そして、3回めの合図で〔図2〕となる裏の面を観客席に向けます。」

〔図1〕 段ボールの表の面で表現したとき



〔図2〕 段ボールの裏の面で表現したとき



ア 1回めの合図で観客席に向ける表の面と、3回めの合図で観客席に向ける裏の面が同じ模様の段ボールを持つ人は何人が、書きましょう。

イ 表の面が■で、その裏の面が▩の段ボールは119枚のうち何枚あるか、書きましょう。

問3

かなこさんとたろうさんは、図画工作の授業で、木材の作品について話しています。次の〔会話文〕を読んで、あとの(1)、(2)の各問いに答えましょう。

〔会話文〕

かなこ 「〔工作の計画〕に従って、〔図1〕のような木材の作品を作ります。」

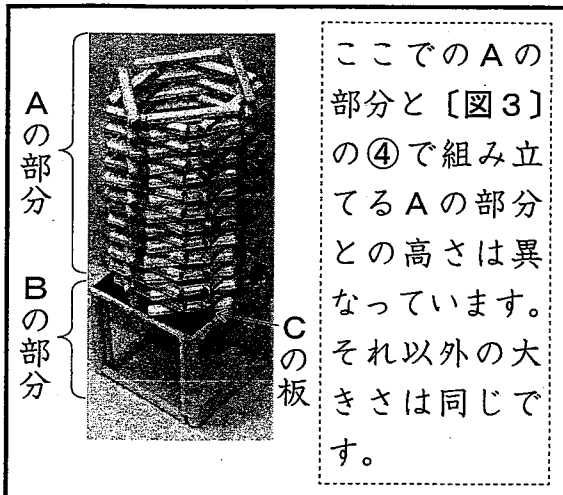
たろう 「Aの部分は、必要な分の棒を積み重ねて作り、Bの部分は、わくを4個作ってから組み立てるのですね。いずれもぴったりくっつける必要がありますね。」

かなこ 「そうです。Bの部分に合わせたCの板の上に、Aの部分を置いて完成です。必要な工作の材料の本数や、作品の大きさを求めましょう。」

〔工作の計画〕

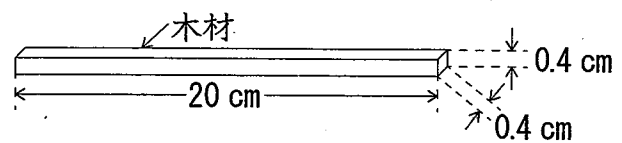
- 木材の作品のAの部分とBの部分には、〔図2〕のような工作の材料を使います。Aの部分に使う棒は、すべて〔図2〕の木材の、20 cmの辺の長さを5等分にしたものです。また、Bの部分に使う棒は、すべて〔図2〕の木材の、20 cmの辺の長さを4等分にしたものです。
- Aの部分は、〔図3〕の①～④の順に組み立てます。まず、①のように正八角形の紙を平らな台の上に置き、②のように棒4本をその紙の上に置きます。次に、③のように棒4本をその紙の面に対して平行に積み重ね、④のように高さが14 cmになるまで積み重ねます。このとき、①の正八角形の1辺の長さは、②で使う棒1本の長さよりも短いものとします。
- Bの部分は、〔図4〕の⑤、⑥の順に組み立てます。まず、⑤のように棒4本を使い、4つの角が直角で、わくの高さと同くのはばが等しい1個のわくを4個作ります。次に、それら4個のわくを台に対して垂直に立て、さらに、4個のわくを⑥のように真上から見たとき、4つの角が直角で縦の長さと同く横の長さが等しい四角形となるように組み立てます。
- Cの板は、縦の長さと同く横の長さがBの真上から見た部分と同じ大きさの板で、⑦のように真上から見たとき、Bの部分とぴったり重なるように組み立てます。

〔図1〕 木材の作品の例



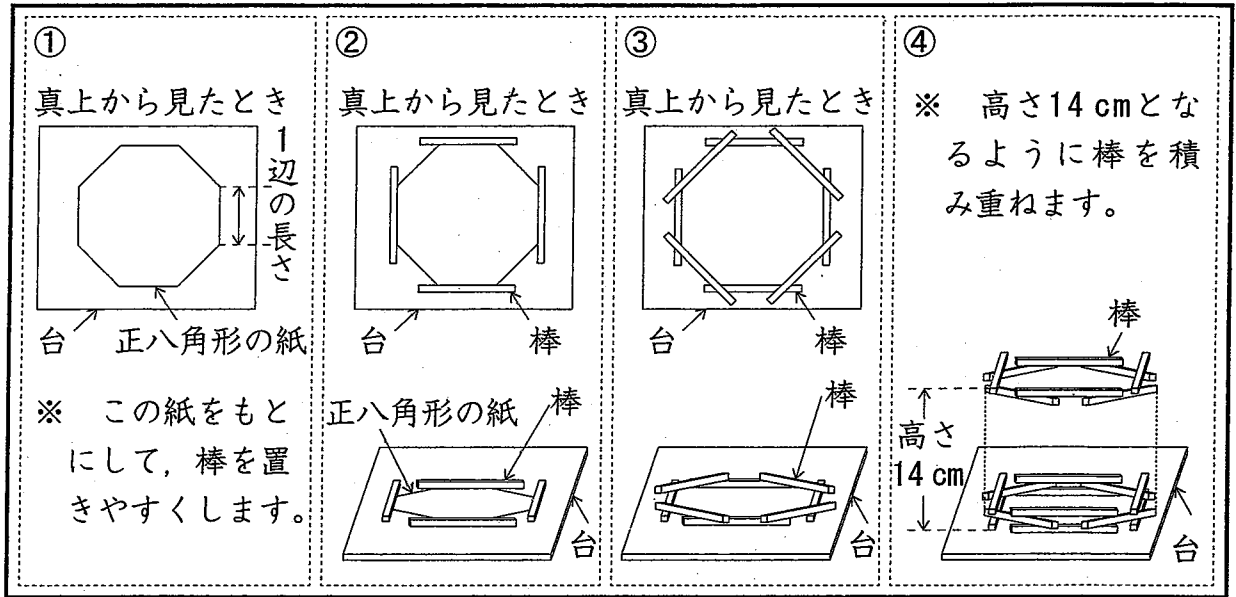
ここでのAの部分と〔図3〕の④で組み立てるAの部分との高さは異なります。それ以外の大きさは同じです。

〔図2〕 Aの部分とBの部分の工作の材料

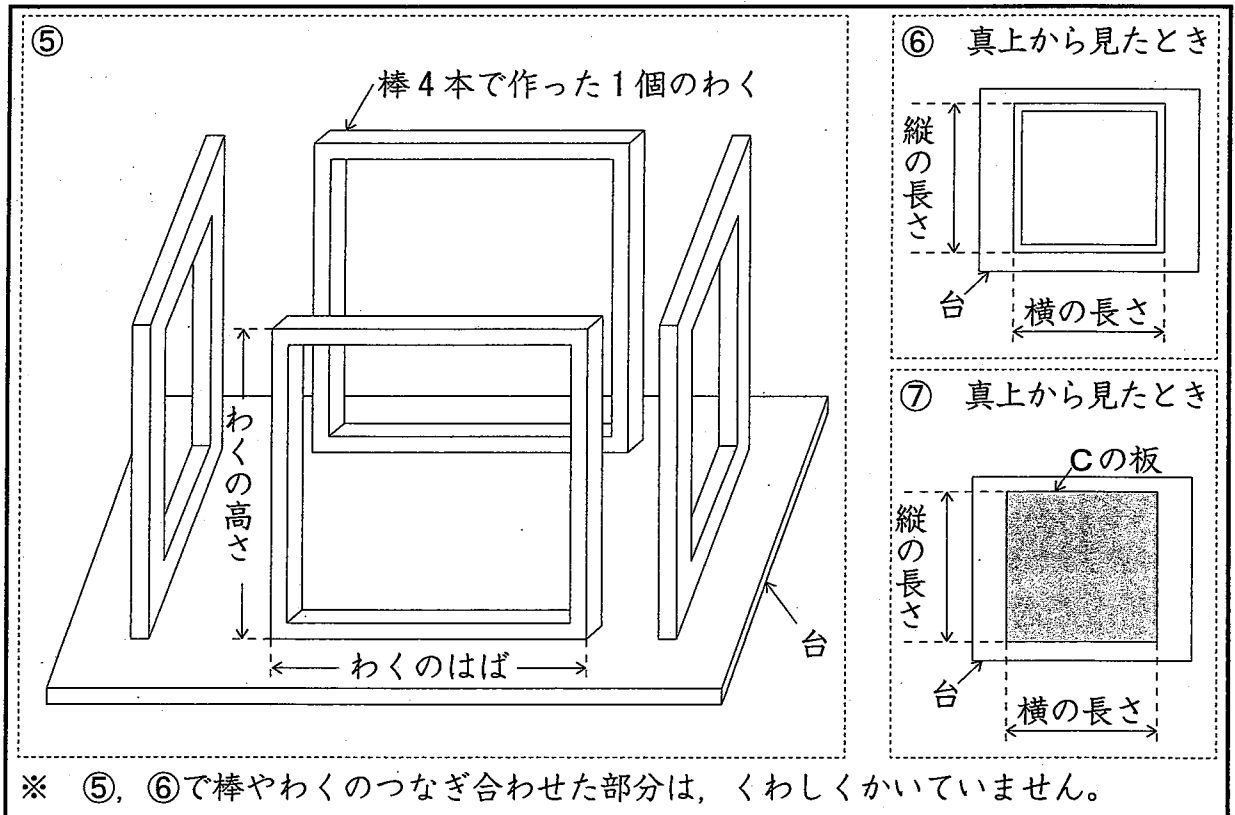


- 工作の材料は、直方体の木材です。
- 工作の材料の数値は、それぞれの辺の長さを示しています。
- Aの部分とBの部分を組み立てるために、この木材を必要な分だけ用意します。

〔図3〕 Aの部分の組み立て方



〔図4〕 Bの部分とCの板の組み立て方



(1) かなこさんは、〔図2〕の工作の材料を必要な分だけ用意し、〔図3〕のようにAの部分を組み立てました。このとき、使った工作の材料は何本か、書きましょう。

(2) 次のア、イの各問いについて答えましょう。

ア 〔図4〕の⑤のわくの高さは何cmか、書きましょう。












イ 〔図4〕の⑦の真上から見たときのCの板の面積は何 $\text{cm}^2$ か、書きましょう。

問4 たろうさんとかなこさんは、買い物のゲームについて話しています。次の〔会話文1〕,〔会話文2〕を読んで、あとの(1), (2)の各問いに答えましょう。

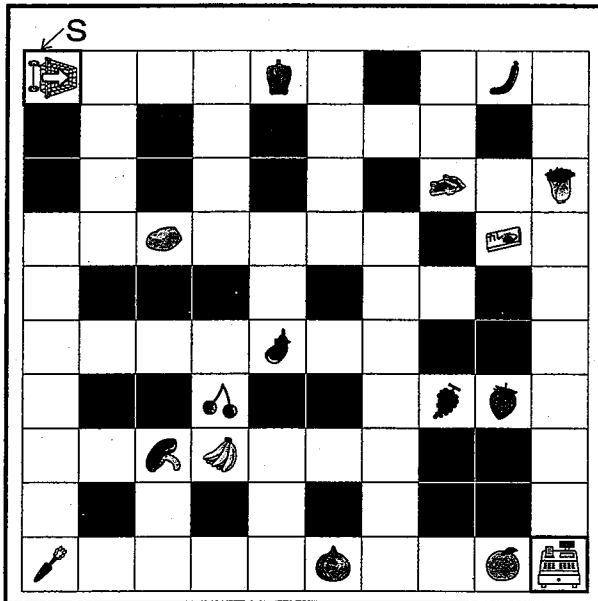
〔会話文1〕


たろう 「〔ルール〕に従って,〔図1〕にある材料を取る道順を考え, その道順を指示する〔カード〕を選んで, 順番に並べます。」  
 かなこ 「並べる〔カード〕の枚数は, 選んだ〔カード〕によって変わりますね。」





〔ルール〕


- 〔図1〕のSのマスからの中の矢印(⇒)の方向にだけ進むをスタートさせ, のマスまで1マスずつ進ませます。〔図2〕のように, の向きを変えただけでは, 次のマスに進ませることはできず, は通れません。をのマスにちょうど着くよう, 〔カード〕を必要な分だけ使い指示をします。
- 〔図3〕の(メモ1)~(メモ4)の中から選んだメモにある材料だけを取るように, を進ませます。材料の置いてあるマスを通ったら, その材料を取ったこととなります。1回通ったマスを再び通ることはできませんが, それぞれの買い物で, をのマスまで進ませると, 材料やの位置が〔図1〕の状態にもどり, 再び通れるようになります。


〔図1〕

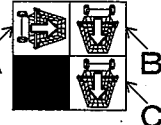


〔図2〕の向きの変え方



向きの変え方	変える前	変えた後
右のカードで, 右に変えるとき		
左のカードで, 左に変えるとき		

をAからCに進ませるときの例
















をAからBに進ませ, 向きを変えます。それから, Cに進ませます。



〔カード〕道順を指示するカード


- ㊤ ①, ②, ③, ④, ⑤, ⑥, ⑦, ⑧, ⑨は, カードにかかれた数と同じ数だけを動かします。
- ㊥ ①右, ②左は, 向きをそれぞれ右, 左に変えます。
- ㊦ ② などのくり返しのカード  
例 ② ①左 ①右にかかれた数の分だけくり返すので, ①左 ①右の指示を2回くり返します。

〔図3〕買い物メモ

- (メモ1)  
  - (メモ2)     
  - (メモ3)   
  - (メモ4)     
- ※ (メモ1)~(メモ4)にあるものが材料です。  
 ※ メモにある順に材料を取らなくてもよいものとします。

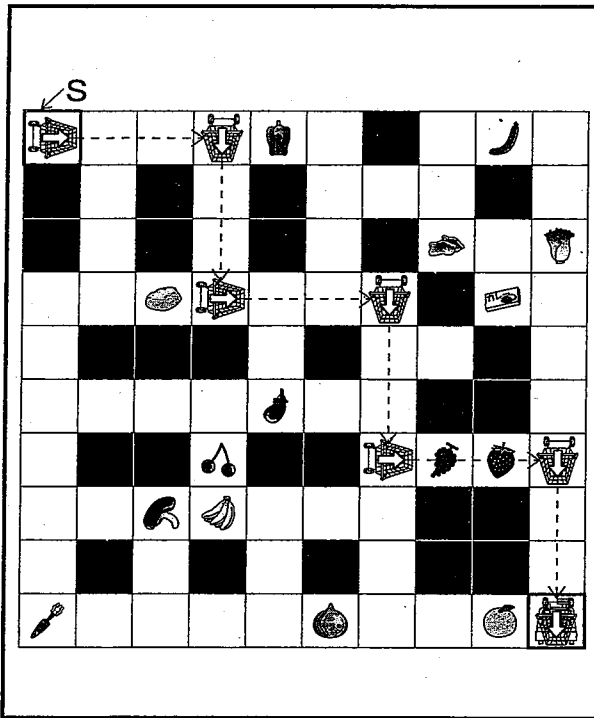


[会話文2]

たろう 「[図3]の(メモ1)の材料を取る道順を[図4]のように矢印(--->)でかき、を18マス進ませました。わたしは、その道順を指示するため、[カード]の⑤を使わない[図5]にある並べ方にしました。」


かなこ 「わたしは、たろうさんと同じ道順で、[カード]の⑤を使う[図5]にある並べ方にしました。2人のカードの枚数の差は3枚になりますね。」

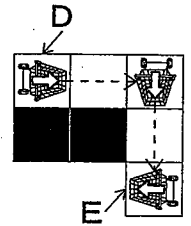
[図4]



[図5] 指示の出し方の例と並べ方

くり返しのカードの指示の出し方の例

をDから2マス進ませ、向きを右に変え、さらに2マス進ませて右に変えることをくり返し、Eまで進ませる道順は **2 2 右** のカードで指示できます。




[カード]の⑤を使わない並べ方

例 **3 右 3 左 3 右 3 左 3 右 3** カード11枚

[カード]の⑤を使う並べ方

例 **2 3 右 3 左 3 右 3** カード8枚

(1) この買い物のゲームをするとき、[図3]の(メモ2)の材料を取る道順では、を何マス進ませるか、書きましょう。ただし、Sのマスは数えないものとします。

(2) この買い物のゲームをするとき、次のア、イの各問いに答えましょう。

ア [図3]の(メモ3)の材料を取る道順を指示する[カード]を並べるとき、たろうさんが⑤を使わずに17枚の[カード]を並べ、かなこさんは⑤を使い、1番枚数が少なくなるように[カード]を並べました。このとき、たろうさんが並べた枚数からかなこさんが並べた枚数をひいた枚数の差は何枚か、書きましょう。

イ かなこさんは、[図3]の(メモ4)の材料を取る道順について、次の①~⑧のカードの番号の中から7つ選び、それらを順番に並べることで指示をしました。このとき、3番めと5番めに並べたカードの番号を、次の①~⑧の中から選び、それぞれ書きましょう。

- |   |              |   |              |   |              |   |                  |
|---|--------------|---|--------------|---|--------------|---|------------------|
| ① | <b>6</b>     | ② | <b>1 右</b>   | ③ | <b>3 左</b>   | ④ | <b>2 2 右</b>     |
| ⑤ | <b>2 3 右</b> | ⑥ | <b>3 6 左</b> | ⑦ | <b>3 2 右</b> | ⑧ | <b>2 1 左 1 右</b> |

※問題は、これで終わりです。

このページには、問題は印刷されていません。

このページには、問題は印刷されていません。

